

安倍打倒の11~12月へ!

2014年11月17日
No.246

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

11/12京大緊急抗議集会での 斎藤委員長の連帯アピール!

私は、11月4日の「京大公安刑事摘発事件」、および同学会が先頭に立って行ってきた、京都大での学生自治を守り発展させる運動に全面的な賛同と連帯の意思を表明して発言を行います!

みなさん! 今この社会と時代を見れば、全世界的な経済危機の中で街中に失業者があふれ、私たちの生活は日々切りつめさせられ、その中で市場や資源・領土をめぐるイラクやシリア、ウクライナ、パレスチナのガザで戦争がどんどん起きています。もちろん日本でも、東アジア情勢がますます不安定化していく、こうした事象と京大事件は決して無関係な問題ではないと思います。

安倍政権は「集団的自衛権行使容認の閣議決定」を今年7月に行い、12月には日米安保ガイドライン再改定と特定秘密保護法の施行が迫っています。こういう時代の中で、京都大学同学会の中央執行委員会が大学の中で、「学生はこれからの時代の中でどう生きていくのか」「この国を、この世界を、これからどうしていくのかもっと私たちは考えよう」、そう訴えて活動していたら大学の中に公安警察が入り込み、白昼堂々と学生を監視していた、これが摘発されたわけです。

昨日11日、集団的自衛権の行使容認に抗議して、東京の日比谷公園で焼身自殺をする男性も現れました。みなさん! 本当に多くの人たちがこの社会はおかしいと感じ、怒りの声は社会に積みあがっています。そうであるからこそ、徹底的に学生を、もしくは労働者・市民を監視するために、安倍政権は公安警察による日常的な監視態勢を強めている。こういう問題の本質が暴露されたのが、今回の京大の公安摘発事件です。

今回、新聞報道等でも「一部の過激派の問題」として物事をねじ曲げようとする傾向があります。しかしみなさん! 起きていることは、何よりも時代の方が「過激」だということです。集団的自衛権に反対して焼身自殺を試みた男性は、いったいどれほど多くの怒りを積み重ねてあ



の行動に出たのか? それはぜひ想像すべき問題です。

今回、いくつかの新聞で「公安警察が京都大学に勝手に入ってきたことは問題だが、しかしそれに対して学生が公安警察を取り押さえたのはやりすぎだ」、こうした論調もあります。しかしみなさん、当日その公安刑事は学生に「お前は公安だろう?」と追及したら、逃げたんですよ。公安が学内に潜り込んでいるということの問題にするためには、彼を捕まえなければいけなかったんです。

日常的監視活動を行い、違法捜査を行い、それを追及したら逃げる。こうやって安倍政権は、違法な捜査で私たちを日々弾圧しているわけです。そうやっておいて「政治活動に関わればリスクがある」「過激な学生が勝手にやっているだけだ」、こう私たちを黙らせ、都合のいいように大学・学問を買収して戦争に協力させていく、これがいま



京都大学全学自治会同学会副委員長の瀬瀬(こうけつ)君!

日本で行われている「大学改革」の実相です。

11月2日、同学会の先頭で闘っていた2名の京大生と、首都圏で全学連とともに活動してきた学生が不当に逮捕されました。今も彼らは「公務執行妨害」という、まったく何をやったのかもわからない「微罪」で10日間も獄中に監禁されています。学生が公安警察の違法な捜査を迫及して3時間迫及したら「やりすぎ」と言われる一方で、学生が戦争反対のデモに出て逮捕され、10日間勾留されることは「やりすぎ」じゃないんですか？

これが今の社会で「合法」と言われることの正体だと思うし、私たちはこの事件をきっかけに、大学と社会のありかたについてもう一度考え直す必要があります。今回の事件を一つの突破口として、すべての学生に考えてほしい。京都大学においては、同学会中央執行委員会とともに議論をし、討論をし、そして学生同士が団結して行動してほしい。その結果どういう行動になるのか、それは討論しだいです。ぜひみなさんの主体性をもって、この時代に私たちはどう生きるべきなのか、そもそも大学と学問とは何か、このことから今の時代を考える必要があると思います。ありがとうございました！

★11/14福島大で京大連帯集会を開催！

11・12京大集会から2日後の11月14日、福大で「戦争反対、川内原発再稼働反対、3学友奪還」を掲げてキャンパス集会を開催しました。10・16集会に続く学内決起です。福大から3・11反原発福島行動'15への結集運動を開始していく号砲としてもありました。



樋口君のアピール！（奥のトラメガ前は弾圧職員）

前日の熊野寮への家宅捜索への怒りを爆発させると同時に、国家権力に実力で立ち向かっている京大生への圧倒的連帯もあり、その上安倍打倒情勢もあったので、雨と寒さを吹き飛ばして集会は超明るく打ち抜けました。

10・16に続いて、集会基調の提起は樋口正太郎くん。「公安のスパイ、3学友逮捕は必ず戦争へと繋がる」「川内原発再稼働は福島切り捨てだ」と弾劾。そして京大生の闘いに関連して「学生にはこの世の中を変える力があります」「衆議院解散…安倍政権は、労働者・学生の安倍打倒の闘いに追い詰められている」と言い切り、3・11反原発福島行動への参加と国会デモへの参加を呼びかけました。

東北大学学生自治会の仲間は、「福大には闘っている樋口くんがいる。彼と団結しよう」と呼びかけ、法政大の洞口朋子さんも元気よくアピールすると同時に、公安警察と結託してきた福大当局を徹底弾劾！

普段は居丈高の当局も、京大情勢と安倍政権の崩壊で、全然勢いがありません。集会を見させない・聞かせないと、トラメガや看板の前に突っ立っているだけ。「中核派が…」「過激派が…」と言って、私たちと福大生を分断したがつているのですが、ぼそぼそと言うばかりで全然聞こえません。雨が降ってきたら、屋根のあるところへ移動して、ただただ私たちを見ているだけに。

なので、当局による弾圧は無力化し、むしろピラがどンドン受け取られ、あちこちで討論の輪ができました。討論になった福大生はみな京大生の公安摘発・熊野寮ガサを知っていて、「福大も京大みたいになるんじゃないか」「京大で何が起きているのか」と大注目でした。

福大キャンパス集会は、2回では終わりません。何度でもキャンパス集会をやり、3・11反原発福島行動も全力で取り組みます。福大生の怒りを解き放とう。安倍との激突点である福島でこそ、京大同学会のように戦争攻撃と真っ向から闘う学生自治会をつくりたい！ 全国の仲間も京大の闘いに続こう。次なる決戦は東北大です！ 福大の私たちも、東北大学学生自治会主催の11・20集会と学生大会への大結集を呼びかけます！（福島大学・F）

【当面する行動方針】

●武田雄飛丸君「無期停学処分」撤回裁判・第8回弁論

12月17日(水) 13時10分～ 東京地裁705号法廷にて

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第5回公判

12月9日(火) 13時半～ 東京地裁429号法廷にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第6回公判

12月25日(木) 13時半～ 東京地裁429号法廷にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

